

出光初の女性技術者

私は恵まれている。

出光初の女性技術者として入社。男社会と腹を括っていたのに驚くほど優しい「現場のおっちゃんたち」と交替勤務2年。製油所のシンボル「常庄蒸留装置」の運転や制御を学んだ。交替勤務の後、設備改造や運転改善の検討業務を担当するようになった頃、結婚、そして妊娠。つわりで完全に戦力外だったが職場全体が「子供が一番」と応援してくれた。育休後、職場に復帰するところまで学んだ事はほとんど忘れていた。保育園へ迎えに行

凛としていきる

理系女性の挑戦



感謝の念を持ち 恩返しを

く時は迫り、忘れた事を調べたり、試行錯誤しながら検討する時間はない。子供は可愛い、夫はイクメンの鑑のような人だが、「私って何て仕事ができないんだ」と落ち込む毎日。それが変わったのは

「私もグループの飲み会に誘って下さい。夫に子供を預けて参加します！」と言つてから。仲良くなると格段に助けを借り易くなり、「迷ったら相談する。アウトプットが出ない方が迷惑する」と吹っ切れた。仕事の要領も得ないまま次男を出産。二の舞は踏めない。

「復帰したら助けてね！」と後輩達に頼んでおいた。年下の後輩達にあつた。調達センターの仲間と

「結婚式準備は『君の好きにしていよいよ』じゃないか。せめて一緒に考えるフリをして！」とか「産後の奥さんに尽くさないと一生根に持たれるよ」の類。「自分で仕事を回せている」と思えたのは復帰から1年後。あるプラントの原料変更に関する基本計画・設計をまとめる仕事。タンクの運用方法は？製品

の収率は？設備の改造は？完工までの納期が厳しく、関係部署も非常に多い仕事だった。しかし、いつの間にか「人に支えてもらって仕事を進めること」が苦じゃなくなっていた私は、図々しくいろんな部署に顔を出し協力を取り付け、多くの人に助けてもらいながら無事期限までにゴールにたどり着いた。今後周りの手を借りることになるだろう。でも私は「2人の息子の母ちゃん業」と「技術者」を両立させたい。家族、上司、先輩後輩、私を支えてくれてる人々へ大いなる感謝の念を持ち、「こんな人たちに囲まれて、

私は恵まれている」と自覚しながら。恩返しします！

企画協力・日本女性技術者フォーラム(JWEF)

出光興産 製造技術部 調達センター調達課 御厨 千恵



＜プロフィール＞04年九州工業大学大学院工学研究科修了。同年出光興産株式会社入社。千葉製油所製油一課、技術課でプロセス・設備検討業務、15年より現職。JWEF個人会員。